

# とまこまい 市議会だより

編集・発行・お問合せ先：苫小牧市議会 とまこまい市議会だより編集委員会  
〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号 TEL 0144-32-6785 FAX 0144-33-1839

第18回定例会を開催いたしました。  
(平成30年12月6日(木)～17日(月))



## 総務委員会



期 間：平成30年11月5日～11月7日  
視察地：大阪府吹田市 和歌山県和歌山市

和歌山市は、東にJR紀勢本線と和歌山駅があり、当駅を中心として市街が形成されていますが、南海電鉄は、乗降客の減少で駅ビル建て替えによる「和歌山市駅活性化構想」が進行しています。本市の駅周辺活性化計画に参考になりました。

## 厚生委員会



期 間：平成30年10月31日～11月2日  
視察地：静岡県掛川市 東京都台東区 東京都八王子市

静岡県掛川市では、健康医療日本一のまちづくりに向けて開院した、中東遠総合医療センターなどの説明を受け、その後、掛川市立総合病院跡地を活用した「希望の丘」や、医療保健、福祉、介護など多職種連携により総合支援を行う「ふくしあ」といった施設の視察を行い多くのことを学びました。

## 市政に反映する視察

各常任委員会では、市政の課題に関することを、先進地で調査・研究し市政に反映しています。

## 文教経済委員会



期 間：平成30年11月7日～11月9日  
視察地：山口県宇部市 香川県高松市

香川県高松市丸亀商店街の活性化事業について、再開発によって売り上げや、人通りが回復した取り組みについて、現地で説明を受けました。本市の中心商店街の活性化に参考となる事例がありました。

## 建設委員会



期 間：平成30年10月22日～10月24日  
視察地：福岡県北九州市 兵庫県西宮市

福岡県北九州市では、脱水した下水道汚泥を原料に燃料化物を製造し、市内で石炭ボイラー等を所有する事業者に売却することで、石炭代替燃料としてCO<sub>2</sub>を削減しながら利用されています。本市にも参考となると感じました。

TOMAKOMAI CITY  
COUNCIL NEWS

第25号

2019年2月1日発行

検索は 苫小牧市議会

検索



平成30年度市立病院事業会計補正予算(第2回)

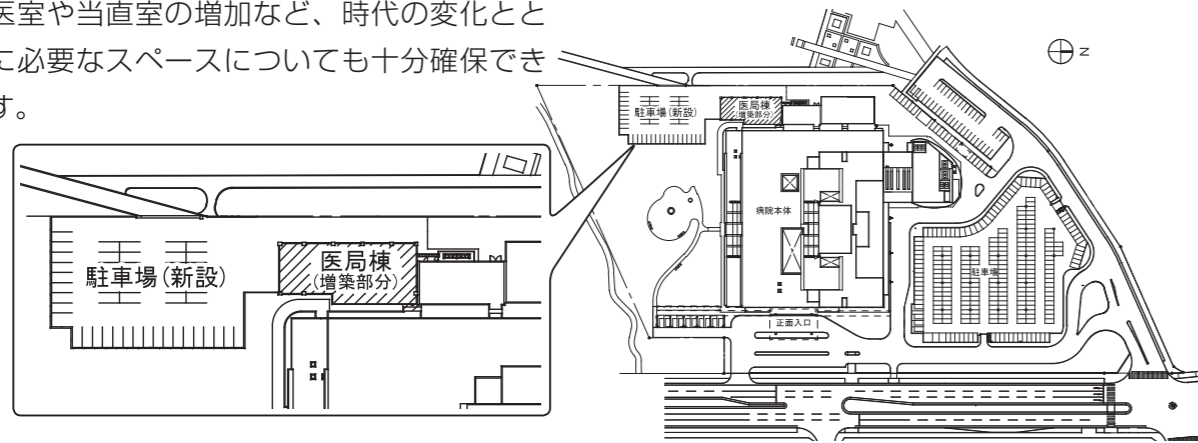
PICKUP\_05

○医局棟増築事業 平成30年度～31年度 総額 6億8,329万5千円

平成18年移転新築当時の医師数が51名だったのに対し、平成29年度末現在の医師数は80名で、約30名の増員となっており、医局の狭隘化が進んでいました。今回の医局棟増築により狭隘化が解消され、大学等から手術応援いただく医師の控室や、カンファレンスルームの新設、臨床研修医の増加に伴う研修医室や当直室の増加など、時代の変化とともに必要なスペースについても十分確保できます。

また、現医局の2階スペースに1階のスタッフ控室等を移転することが可能となることから、1階フロアには入院前後の患者さんや、ご家族の困りごとをワンストップで受けられる「入退院支援センター」を開設する予定です。

(開設予定時期 平成32年5月)



PICKUP\_06 賛否の分かれた議案・陳情

議案・陳情	会派名	緑風	公明党議員団	日本共産党市議団	民主クラブ	改革フォーラム	会派市民	陽春
各会派所属議員 (木村司議長は採決には加わりません)		矢嶋 翼 岩田 典一 板谷 良久 竹田 秀泰 木村 司	藤田 広美 神山哲太郎 大西 厚子 池田 謙次 林 光仁	小野寺幸恵 渡辺 満 工藤 良一 富岡 隆 原 啓司	西野 茂樹 小山 征三 松尾 省勝 岩田 薫 佐々木修司	越川 慶一 牧田 俊之 首藤 孝治 松井 雅宏	桜井 忠 谷川 芳一	金澤 俊 宇多 春美
第17回定例会 議案第3号 平成29年度苫小牧市 一般会計歳入歳出決算の認定	可決	○	○	×	○	○	×	○
第17回定例会 陳情第2号 訪問介護における生活援助の提供 回数の制限を行わないことを求める 要望意見書提出に関する陳情	可決	×	×	○	○	○	×	×
第18回定例会 陳情第1号 図書館利用者の秘密漏えいに関 する検証を求める陳情	否決	×	×	○	○	×	×	×
第18回定例会 陳情第2号 図書館基本計画等の策定に関 する検証・評価を求める陳情	否決	×	×	○	○	×	×	×

PICKUP\_07 国や道の関係機関に意見書を提出

- 全国規模の総合的なアイヌ政策の根拠となる新たな法律の早期制定を求める要望意見書
- 訪問介護における生活援助の提供回数の制限を

- 行わないことを求める要望意見書
- 義援金差押禁止法の恒久化を求める要望意見書
- 自動車関係諸税の抜本改革を求める要望意見書

第18回 定例会概要

PICKUP\_01

市長の「市政に臨む基本方針」に対する各会派の代表質問等を行いました。

第18回定例会は12月6日(木)から17日(月)までの12日間の会期で報告8件、陳情2件、議案27件、要望意見書4件などの審議が行われました。

冒頭、職員の不祥事による行政報告行い、次に胆振東部地震の影響により延期となっていた市長の「市政に臨む基本方針」が行われ、新たな行財政計画など25項目の基本政策が示されました。7会派による代表質問では、新たな行財政計画や人口減少抑制対策などについて議論が交わされました。

その後行われた一般質問では、12名の議員からIR(カジノを含む統合型リゾート)、(仮称)市民ホール、防災関連をはじめ教育・福祉・健康などの施策や事業について議論が行われました。  
※(代表・一般質問や委員会の質疑等の内容については各会派のページや委員会報告をご覧ください。)

PICKUP\_02

条例制定及び一部改正

制定

「苫小牧市史編さん審議会条例」

一部改正

- 「苫小牧市個人番号の利用に関する条例」
  - 「苫小牧市議会議員及び苫小牧市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例」
  - 「苫小牧市税条例」
  - 「苫小牧市ウトナイ交流センター条例」
  - 「苫小牧市緑ヶ丘公園サッカー場条例」
  - 「苫小牧市建築基準法施行条例」
  - 「苫小牧市特別職の職員の給与に関する条例」
- など

PICKUP\_03

平成30年度下水道事業会計補正予算(第2回)

- 汚泥脱水用凝集剤購入費 平成31年度 2,733万8千円
- 下水処理センター維持管理業務委託 平成31年度～35年度 18億2,483万3千円

平成30年度水道事業会計補正予算(第2回)

- 水道メーター検針等業務委託 平成31年度～33年度 2億8,078万円
- 量水器購入費 平成31年度 2億4,786万1千円

PICKUP\_04

平成30年度一般会計補正予算(第5回)

平成30年度歳入歳出予算の総額に

5億822万7千円追加し

歳入歳出の総額を

778億2,508万6千円としました。

主なものは、

- 防災備蓄品整備事業費 3,340万円
- 保健センター医療機器整備事業費 1,158万3千円
- 植苗・美沢地区不法投棄 監視カメラ設置事業費 497万円
- 沼ノ端地区公園施設防犯カメラ設置 1,096万2千円

災害関連に伴う

- スポーツ施設整備費 1,374万8千円
- 災害弔慰金 750万円
- 校舎等維持補修経費(小・中学校) 2,362万3千円



台風21号で被害を受けた中学校

常任委員会

◆総務委員会

◆苦小牧市イルミネーション事業について

富岡 隆 委員長

苦小牧市の顔である駅前を明るく元気にすることと合わせ、まちなかの「にぎわい」を創ることを目的にイルミネーション事業を実施することが報告されました。実施時期は、平成30年12月21日(金)から平成31年2月14日(木)迄で、点灯時間は午後4時から11時までの7時間となっております。

質疑では、3商店街との協議については意見交換をしながら、まちなかへのにぎわいや集客を促進していくために連携を強めていくこと。イルミネーションのイベントを通してスケート祭りや商店街市民団体と協力し一緒に進めていきたい。駅前における放置自転車の対策や警備の体制についてもしっかりと対応していくことが説明されました。



◆厚生委員会

◆高丘霊園の今後のあり方について

松尾 省勝 委員長

所管事項は、空家等対策計画(案)や苦小牧市立病院新改革プラン評価報告書、苦小牧市霊園事業特別会計の閉鎖についてなど10件の審議がありました。

高丘・第2霊園は墓所の整備を順次行っており、平成29年には共同墓も設置するなど市としての努力が続けられている。お墓の継承者がいないなどの理由による「墓じまい」などお墓に対する考え方の変化から、市側は市民ニーズを把握し墓所の整備を行う必要があるが、造成や整備を行う予定はないとし、霊園事業会計の閉鎖を検討するとの考えを示しました。委員からは、事業閉鎖後の体制や維持管理にかかわる基金の動向、無縁墓とならない仕組みづくりなどの質疑がありました。



◆文教経済委員会

◆特別支援学級の通学区域について

宇多 春美 委員長

2件の付議事件は表決の結果、可否同数であり、委員長採決により不採択と決定し、本会議においても不採択となりました。

特別支援学級の通学区域の変更について、現在、肢体不自由のある子ども達は苦小牧東中学校の拠点校方式で教育を受けていますが、31年度からは拠点校方式から、居住地域の中学校区の特別支援学級を基本としつつ、拠点校の体制整備による教育を必要とする場合、拠点校を選択できる併用方式となります。選択にあたっては、保護者に対し丁寧な説明をし、学校の様子を見てもらい決めていただきます。また教育現場で対応できることを保護者との話し合いを重ね、合理的配慮のもと良い教育環境を提供するものとなります。



◆建設委員会

◆街路樹の大木化や老朽化など樹木管理の説明を受け議論！

越川 慶一 委員長

植栽後30年以上経過した街路樹や公園樹木が大木化、老朽化してきたため、26年度から30年度にかけてモデル地区での間引きや剪定を行い、適正な維持管理を目的に公共施設樹木適正化事業(素案)を策定。モデル地区でアンケートを実施し、植樹で困っていることに街路灯の光を遮り暗くなることや落ち葉の掃除に困るなどの意見がありました。



また、苦小牧市における住環境の特性、市民の意向などに基つき、今後の住生活のさらなる安定確保及び向上を目的に、31年度から10年間を計画期間とする苦小牧市住生活基本計画(素案)が策定され、その内容について議論しました。

特別委員会

◆総合開発特別委員会

◆地元関係機関で国等へ要望活動

林 光仁 委員長

所管事項は「要望について」「陸上自衛隊の訓練について」「日本製紙(株)及び双日(株)が出資予定する合併会社による木質バイオマス発電所の立地計画について」など11項目で「要望について」は、これまでの苦小牧市単独で行っていた国などへの要望活動を地元関係機関と一体となり活動したことを委員長から報告しました。



また、陸上自衛隊の訓練や2020年に生産停止となる日本製紙(株)勇払事業所の洋紙事業停止の影響についての調査結果の報告、木質バイオマス発電所の立地計画概要の説明があり、延べ12名の委員から質疑が行われました。

◆安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会

◆津波一時避難施設として1棟が追加され市内68棟になる

岩田 薫 委員長

所管事項は、災害時の協定に関する事項、防災訓練、苦小牧市国民保護計画の変更(案)、(仮称)市民ホールの整備手法検討と進め方の4件の報告がありました。協定の締結では津波避難所ビルに苦小牧港開発(株)が加わり、市内全体で68棟となりました。



(仮称)市民ホールの整備手法と進め方の質疑では、市側の答弁に対し動議があり、理事会で協議した結果、改めて市側の考え方が示され了承されました。

その他、胆振東部地震での対応で、「液体ミルクの対応について」「停電に伴い電線の地中化の計画」「今後の計画停電の予定」また「災害時の避難場所看板の市民周知」など質疑が交わされました。

平成29年度一般会計決算審査特別委員会

谷川 芳一 委員長

平成30年10月9日から10日の日程で委員会を開催しました。委員会は、13名の委員で構成され、2日間の審査では、決算説明書や主要事業レビュー及び市側から提出された資料などをもとに、一般会計のそれぞれの事業の課題や改善点、さらには市民の血税である予算が適正に執行されているかといったことなどについて、延べ38名の委員から、苦小牧市の未来を見据えた闊達な議論が展開されました。

2日間とも、時間を延長し理事会についても頻繁に行った結果、平成29年度苦小牧市一般会計決算については、賛成多数で認定となりました。

一般会計	
委員長	谷川 芳一
副委員長	松尾 秀泰
委員	○竹田 修司
	○岩田 厚典
	○大西 一子
	○藤田 美美
	○宇多 春美
	○首藤 孝治
	○工藤 良一
	○小野寺 幸三
	○小
	○小

○印は理事

平成29年度企業会計決算審査特別委員会

神山 哲太郎 委員長

平成30年10月16日から17日の2日間の日程で委員会を開催しました。審査では、委員長を除く全委員が質問を行い、各会計の事業内容の進捗や予算執行の状況などについて慎重かつ活発な質疑が市側と展開されました。その結果、すべての会計において全会一致で認定されました。

国民健康保健事業会計では被保険者の減少や給付費の増加の影響などを心配する質問。市立病院事業会計では、約2億円の赤字の原因について今後の見通しなどの質問が相次ぎました。また、霊園事業会計では、申込が多かった共同墓について数の見直しなどの質疑がなされました。

企業会計	
委員長	神山 哲太郎
副委員長	金澤 俊久
委員	○板谷 良久
	○原 啓司
	○岩田 薫
	○岩田 翼
	○桜井 忠次
	○池田 謙光
	○越川 慶一
	○富岡 隆樹
	○西野 茂
	○西野 茂

○印は理事

緑 風



矢嶋 翼 議員

☆今回の大規模停電で在宅酸素療法や人工透析など、命に直結する状況下の対応の質問に、医療機関や医療機器メーカー・行政が連携して対応。さらに検証し、防災力の向上に繋げると答弁がありました。

久司 良久 板谷 典一 板谷 秀泰 岩田 翼 岩田 竹田 矢嶋

☆災害時の取るべき行動について市と町内会・民生委員が情報交換する場を設けるべきとの質問に、高齢者等への支援を着実にする為さらに、町内会・民生委員との連携を進めると答弁がありました。 ☆苫小牧独自の小中一貫教育「オールナイン」での成果の質問に、小中共同で教員研修・中学教員が小学で授業・小中で学習や生活の課題を共有して授業改善が進む効果があると答弁がありました。



岩田 典一 議員

4期目の市長公約について、会

派を代表して質問しました。 ☆20年先を見据えたまちづくりの実践について、財政基盤のさらなる強化のため、国際リゾート構想の推進など、税収、税外収入の増加に向けた施策に力を入れていくと答弁がありました。

☆旧サンブラザビルについて、現在、個人、法人合わせて28名の権利を市が一元集約しており、残り1名の権利者から無償譲渡の意向をいただけるよう引き続き取り組みをいっしょに考えが示されました。



木村 司 議長

☆平成30年10月29日に議会改革の一環として開かれた議会を指し、市民の皆さんと議会を近づけるため制定する議会基本条例市民説明会が開かれました。1回目は議員・市民46名の参加をいただき、2回目は35名の参加をいただいて開

催されました。市民の皆さんから、条例が出来ることで何が変わるのか、今後、政治倫理条例を制定する予定はあるのかなど、活発な質疑がおこなわれました。また、議会モニター制度等を取り入れてもいいのではなど、貴重な提案を受けました。今後、新しく取り入れた議員問討議や広聴広報活動の具体的方策について検討し実行していくことが重要と考えております。



竹田 秀泰 議員

☆待機児童解消について質問し、平成32年以降の第二期計画で三歳未満児の待機児童解消に向けた内容が中心との答弁がありました。

☆学校ICT化について質問し、31年度以降普通教室などで利用できるタブレット端末の導入を検討しているとの答弁がありました。

☆市立病院医局棟増築について、医局員の出入りにダブルのセキュリティチェックが必要と質問し、通常のチェックと防犯カメラを併用すると答弁がありました。



板谷 良久 議員

☆拓真樹林の植栽調査について大学などの調査機関に出来ないか質問し、専門的な研究が必要な場合は大学などの専門機関に依頼も考えていくと答弁がありました。

☆受動喫煙対策として、民間事業者が喫煙施設を設置する場合、国の助成金に加えて、市が単独で助成する方針が明らかとなり、できる限り自己負担が軽減されるよう要望しました。

☆博物館の新たな取り組みとして、かつて経験したことを楽しみながら皆で語り合うことによって、脳を活性化させ、気持ち(心)を元気にする心理・社会的アプローチである回想法を導入した事業を新設するよう提案しました。

公明党議員団

藤田 池田 広美 謙次 神山 林 哲太郎 光仁 大西 厚子

代表質問(抜粋)

【藤田 広美 議員】



代表質問で、市長の基本方針と福祉など質問。以前より提案のとまチョップをデザインしたヘルプカードは12月17日より配布。市のホームページからもダウンロードできる。ヘルプマークの周知は市独自のリーフレットやポスターを製作し公共施設や学校医療機関に設置の依頼をする。あいサポート運動は毎年千名を目標に運動を拡大。講師を養成するメッセンジャー研修や子供向けのキッズサポーター研修の取り組みを進める。女性活躍社会への取り組みで市職員の女性管理職の比率を2020年まで30%にする目標で毎年2%ずつ引き上げ19人増の74人にする。立地企業への助成制度は対象範囲や業種の見直しを検討する。商店街の活性化に向け補助金制度の要件や対象の緩和、各支援策など使い勝手の向上を図る。在宅医療を推進するためグループ

診療体制の編成を協議する。医療的ケア児の短期入所支援の実現に向けて具体的な検討を行っている。霊葬場の整備では収骨室の増設を求め施設の改修計画を立てる。低額の墓地販売を提案し市民が求める霊園のあり方のアンケートを実施して霊園整備を進める。受動喫煙防止対策で分煙整備に対して国の助成に上乗せして上限額を設けて検討する。がん対策の推進ではがんフォーラムの開催を提案し検討すると答弁がありました。

一般質問等(抜粋)

【神山哲太郎 議員】



災害時情報発信について インターネット環境にない人や防災ラジオを通じた地域情報の発信について質問。防災ラジオ単独の放送やラジオ利用の方法についてもポスター掲示なども含めた周知方法を考えていくとの答弁がありました。 自助の強化について 市民の防災意識向上のために防

災害養成講座の開催や資格取得に対する費用の助成を求めました。研修会の開催を積極的に働きかけ費用助成も検討したいとの答弁がありました。 精神保健福祉士の活用について 生活支援課に精神保健福祉士の配置や就労支援への活用について質問。精神疾患を抱えている人への専門性の高い支援ができることや職員のリベルアップにつながるなどの答弁がありました。

【池田 謙次 議員】



主に胆振東部地震で被災地を回り声を聴き、学んだ多くの教訓をもとに質問しました。 停電時の対応について、可動式バッテリーの導入をすると答弁。携帯電話不通時の移動基地局の締結、洗濯機の手配、障がい者の方々の対応、罹災証明書の迅速化、市内・勇払の一部損壊への義援金配分などを質問。

ほかに生ごみ対策と航路直下の小中学校へのエアコン設置について質問しました。

【大西 厚子 議員】



乳がん対策 で第11回定例会で提案した、乳腺密度が高い高濃度乳房などを受診者に通知するしくみについて質問。平成30年度から検診の結果票に項目を追加し通知しており、高濃度乳房の情報周知をイベントで行うことを検討すると答弁がありました。

交通安全指導員について、2020年度の更新時期に待遇改善を検討すると答弁がありました。

【林 光仁 議員】



平成29年度 企業会計決算委員会、国保課の保健師配置の実態を質問。健康支援課と兼務で1名配属し、機能的に寄与していることから31年度の増員を考えていると答弁がありました。 水道メーターのリサイクルの本格実施の時期について質問。1万1千個ストックをしており、31年度からリサイクルの本格実施を行うと答弁がありました。

# 民主クラブ

西野 松尾 茂樹 省勝 小山 岩田 征三 薫 佐々木修司

岩倉市長は、議会の議決による手法であっても住民理解を得られるとの考えを示しました。今後は、最低でも議員提案による住民意向調査を求めてまいります。

◆**岩倉市政の基本政策を問う!**  
今議会の代表質問では、IR誘致の課題やエガオビルの跡地利活用、新千歳空港からの鉄道乗り入れ問題など今後の苫小牧のまちづくりに関わる43項目について、岩倉市長の姿勢をたどりました。

**代表質問**

◆**岩倉市政の基本政策を問う!**

今議会の代表質問では、IR誘致の課題やエガオビルの跡地利活用、新千歳空港からの鉄道乗り入れ問題など今後の苫小牧のまちづくりに関わる43項目について、岩倉市長の姿勢をたどりました。

◆**住民意向調査を求め!**

特にIR誘致については、市側も住民理解が進んでいないことを認めていることから住民投票若しくは住民意向調査の実施を強く求めました。

岩倉市長は、議会の議決による手法であっても住民理解を得られるとの考えを示しました。今後は、最低でも議員提案による住民意向調査を求めてまいります。

**西野 茂樹 議員**

◆**町内会の財政支援見直しへ**  
町内会活動について岩倉市長は「高齢化と人口減少が進む社会情勢の中、住みやすいコミュニティづくりという点から抜本的に変える。町内会は協働のパートナー」とし、助成金など財政支援を2019年度から見直すとなりました。

◆**停電時、住民の避難路絶たれる**  
胆振東部地震で発生した大規模停電では、停電が発生するとJR踏切の遮断機が一斉に下りるため津波浸水地域の住民は、踏切を渡り避難することが出来ないことを指摘しました。市側は、重要な課題であり、地域住民に周知するとともに国、道、関係機関と十分に協議するとなりました。

**一般質問**

◆**停電時、住民の避難路絶たれる**

胆振東部地震で発生した大規模停電では、停電が発生するとJR踏切の遮断機が一斉に下りるため津波浸水地域の住民は、踏切を渡り避難することが出来ないことを指摘しました。市側は、重要な課題であり、地域住民に周知するとともに国、道、関係機関と十分に協議するとなりました。

◆**町内会の財政支援見直しへ**

町内会活動について岩倉市長は「高齢化と人口減少が進む社会情勢の中、住みやすいコミュニティづくりという点から抜本的に変える。町内会は協働のパートナー」とし、助成金など財政支援を2019年度から見直すとなりました。

**小山 征三 議員**

◆**学校給食の無償化について市側**  
「将来的な財政状況や人口減少、少子化対策の在り方について判断することは現時点では難しく、無償化は考えていない」としました。無償化の実施自治体が年々増加していることから調査・研究を行なうことを要望しました。

◆**北海道が安平川の治水対策として整備する遊水地を含む周辺のエリアは、希少な鳥類が生息していることから、ラムサール条約湿地登録について市の考え方を質しました。**岩倉市長は「あらゆる関係機関との調整が必要となってくる結果がどうなるかという問題はありますが、重要なチャレンジテーマだと考えている」と答弁しました。

**一般質問**

◆**北海道が安平川の治水対策として整備する遊水地を含む周辺のエリアは、希少な鳥類が生息していることから、ラムサール条約湿地登録について市の考え方を質しました。**

岩倉市長は「あらゆる関係機関との調整が必要となってくる結果がどうなるかという問題はありますが、重要なチャレンジテーマだと考えている」と答弁しました。

**佐々木修司 議員**

◆**文教経済委員会では、平成30年度教育委員会点検・評価、給付型奨学金制度の創設、学校給食費の改定、苫小牧市中小企業振興計画、苫小牧市観光振興ビジョンの進捗状況などが報告されました。**

◆**厚生委員会では「胆振東部地震」により、平成30年9月議会での委員会審議事項や付議事件の審査が継続審議になって行われたことから、国への要望意見書提出に関する陳情を採択するなど、所管事項10件の審議を行いました。**

**松尾 省勝 議員**

◆**厚生委員会では「胆振東部地震」により、平成30年9月議会での委員会審議事項や付議事件の審査が継続審議になって行われたことから、国への要望意見書提出に関する陳情を採択するなど、所管事項10件の審議を行いました。**

**岩田 薫 議員**

小野寺幸恵 渡辺 富岡 満 隆 工藤 原 良一 啓司

# 日本共産党市議団

◆**代表質問 小野寺幸恵 議員**  
ブラックアウトについて  
ブラックアウトは、厚真火力発電所が国家プロジェクトとして進められてきた東部開発の工業用電源として巨大化してきたこと、一方で国のエネルギー政策の転換により原発が推進されてきましたが、福島原発事故により泊原発が停止し、厚真発電所に一極集中化してきたことが要因であることを指摘。分散化の重要性と再生可能エネルギーへの転換を求めました。

◆**外国人労働者について**  
出入国管理法が成立しましたが、低賃金・長時間労働など外国人の労働環境が劣悪であることが問題となっていることを示し、苫小牧での外国人労働者の事態を調査するよう求めました。

◆**漁業法改正と漁業振興**  
70年ぶりの漁業法改正で、漁業権の優先順位が廃止されて、知事の裁量に任じられることから、企業の参入が心配されています。港管理組合管理者である市長と知事が協議し、地元漁業者を守る立場に立つよう求めました。

**小野寺幸恵 議員**

◆**代表質問 小野寺幸恵 議員**

ブラックアウトについて  
ブラックアウトは、厚真火力発電所が国家プロジェクトとして進められてきた東部開発の工業用電源として巨大化してきたこと、一方で国のエネルギー政策の転換により原発が推進されてきましたが、福島原発事故により泊原発が停止し、厚真発電所に一極集中化してきたことが要因であることを指摘。分散化の重要性と再生可能エネルギーへの転換を求めました。

◆**一般質問 工藤 良一 議員**  
停電時の透析患者などの対応  
胆振東部地震で、人工透析患者が停電時に必

◆**駅前イルミネーションについて**  
今年から始まる駅前イルミネーションについて、今年テーマを「復興のともじび（被災3町の復興と駅前の復興）」と位置づけ、3町からも来てもらうイベントの実施を提案しました。

◆**外国人観光客**  
外国人観光客を想定していたIRが、基本構想では8割が国内観光客であることから、「ターゲットは市民と道民だ」と指摘。ギャンブル依存症は、家庭崩壊・家族離散につながり、子ども達が犠牲になることを述べ、「メリットがあつたとしてもIR誘致はすべきではない」と

◆**特別委員会 渡辺 満 議員**  
軍事訓練について  
平成30年9月に予定されていた日豪共同訓練は、胆振東部地震で中止になりましたが、今後の訓練について中止を求めました。理事者は「臨時的な訓練であり常態化はしない」と弁明しましたが、さらなる日・米・豪の訓練が合意されています。「沖縄の負担軽減」を名目に行っている日米共同訓練の一方、訓練拡大は問題であることを強く指摘しました。

◆**議案審議 富岡 隆 議員**  
PCBの対応について  
平成12年から繰り返し調査を行ない、撤去作業を進めてきたPC

◆**外国人観光客**  
外国人観光客を想定していたIRが、基本構想では8割が国内観光客であることから、「ターゲットは市民と道民だ」と指摘。ギャンブル依存症は、家庭崩壊・家族離散につながり、子ども達が犠牲になることを述べ、「メリットがあつたとしてもIR誘致はすべきではない」と

◆**在宅酸素療法**  
在宅酸素療法を行なっている患者の現状を質問し、避難所に行かず車から電源を確保していた事例を紹介し、今後の対応を求めました。

◆**塩化ビフェニル**  
B（塩化ビフェニル）が、最近になって98個も見つかった問題で、「もう無い」といついたはずなのに、なぜ出てきたのか」と質問、理事者の姿勢の甘さが露呈しました。この現状から、庁内横断的なチェック機能の重要性を提案しました。

◆**PCBの対応について**  
平成12年から繰り返し調査を行ない、撤去作業を進めてきたPC

◆**外国人観光客**  
外国人観光客を想定していたIRが、基本構想では8割が国内観光客であることから、「ターゲットは市民と道民だ」と指摘。ギャンブル依存症は、家庭崩壊・家族離散につながり、子ども達が犠牲になることを述べ、「メリットがあつたとしてもIR誘致はすべきではない」と

◆**在宅酸素療法**  
在宅酸素療法を行なっている患者の現状を質問し、避難所に行かず車から電源を確保していた事例を紹介し、今後の対応を求めました。

**渡辺 満 議員**

◆**特別委員会 渡辺 満 議員**

軍事訓練について  
平成30年9月に予定されていた日豪共同訓練は、胆振東部地震で中止になりましたが、今後の訓練について中止を求めました。理事者は「臨時的な訓練であり常態化はしない」と弁明しましたが、さらなる日・米・豪の訓練が合意されています。「沖縄の負担軽減」を名目に行っている日米共同訓練の一方、訓練拡大は問題であることを強く指摘しました。

# 改革フォーラム



牧田 俊之議員

## 【代表質問】

スポーツ振興、財政の健全性、産業集積、人口減少抑制、住宅整備計画、駅前広場、中小企業活性化、医療的ケア児、児童相談所分室、手術支援ロボット、樽前山7合目ヒュッテ、教育行政などの23項目について質疑をいたしました。

## 【スポーツ振興】

スポーツ都市を宣言している苫小牧市の基本方針にスポーツに対する言及がなかったことの指摘に対して、スポーツを通じた交流人口の増加、大学との連携、スポーツ推進計画に基づいた取り組みを進めると答弁がありました。

## 【財政の健全性】

膨らみ続ける地方債、中でも4割を占める臨時財政対策債に頼らない財政計画の組み立てについて考え方を質しました。本来、地方交付税として総額確保されるべきものですが、財源不足となることから、発行可能額全額を借入しているのが現状です。

## 【市営住宅整備計画について】

他市と比べて市営住宅管理戸数が苫小牧市は非常に多く、20年後に5千戸の整備計画を達成したとしても、高いレベルであり計画の見直しについて確認したところ、基本的に5年おきに見直しを行い情勢変化、事業進捗状況により適宜見直すことと答弁がありました。

## 【駅前広場】

駅前広場の復活について、イルミネーション事業がまちなかの賑わい「活性化」に繋がることを期待したいが駐車場などの低未利用地が阻害していることを指摘し、公共交通の利用促進によるにぎわいの創出について確認しました。低未利用地についてはCAP事業「苫小牧まちなか再生総合プロジェクト」を推進し新たな土地利用に転用していただけるようにすると答弁がありました。

## 【樽前山7合目ヒュッテ】

突然の噴火に備え避難小屋の整備と繊維織物「ケプラー」による屋根補強について市の考え方を確認しました。ヒュッテのあり方について検討を進めています。緊急

避難施設として活用する場合は屋根補強の考えも含めて総合的に判断したいと答弁がありました。



首藤 孝治議員

## 【(仮称)市民ホール計画と総合体育館の複合について】

一般質問にて議論しました。苫小牧市の財政は今後の少子高齢化による人口減少により税収減が推測され、財政が逼迫する可能性があることを指摘し、公共施設の維持管理費用や事業工費の削減、老朽化した総合体育館の状況や中心市街地の活性化を考慮した場合に(仮称)市民ホール計画と総合体育館を併設し複合化することを本格的に検討する必要があることを質疑し、次世代に向けたまちづくりを進めていただくことを要望しました。



越川 慶一議員

【防災情報発信の充実を！】震災時の市民への情報発信は、さらに充実を図る必要があると全市への防災行政無線の設置を提案。市は「

屋外スピーカーの全所的な拡大の可能性を検討している」と答弁。

【国家戦略特区の申請を！】苫小牧地域の自動車の自動走行やドローン(無人航空機)の実証試験場所として特区申請を行い新たな企業誘致に繋げることを提案。市は「直ちに特区を検討する状況ではないが企業誘致のきっかけに繋がるよう情報収集に努める」と答弁。



松井 雅宏議員

## 【文教経済委員会】

平成30年4月にスタートした「苫小牧市中小企業振興計画」の取り組みを質した上で、中小・小規模事業者で構成している業種別の組合・協会などに向けた出前講座を実施しさらなる浸透と活用を図るべきと提案しました。また、市内中学校の肢体不自由学級が、来年度から東中学校1校の拠点校方式から、居住地域の学校へも通えるという選択方式を導入することについて評価した上で、導入趣旨を各校に徹底するように求めました。いずれも前向きな答弁を引き出しました。

# 市民会派

桜井 忠・谷川 芳一



桜井 忠議員



谷川芳一議員

## ■代表質問

1. 災害に強いまちづくり
  - (1) 正しい情報伝達について
  - (2) ブラックアウトについて
  - (3) 泊原発再稼働に対する市長の姿勢に変化はあるか
  - (4) 停電解除の規則性は
  - (5) 交通事故はあったか。人身事故は何件あったか
  - (6) 高層住宅は断水となったが、高齢者への影響は。ボランティアの必要性は
- (3) 防災対策について
- (1) 役に立った防災協定は、または実行されなかったのは
- (2) 下肢障害者をエレベーター付住宅の3階に居住させては
- (3) 消防サイレンのパターンが各町内に配られたが、活用方法は
- (4) 避難勧告や指示より緊迫度が伝わる命令にすべきでは
- (5) 避難所は東中だが津波予測図は若草小。しかし今回は東小に変

わったが、混乱はなかったか  
⑥市役所に担当町内会制度を導入して町内会と市役所を結び役割を持たせては

## 2. 苫小牧の運輸行政

- (1) 新千歳空港について
- (2) 民間委託の進捗状況、及び今後の見直しは
- (3) 民間委託は離発着料の見直しと連動するが、そうなるか
- (4) インバウンド増のため、共産圏への規制緩和を防衛省へ申し入れの感覚は
- (5) 国際線ターミナル拡張工事による対応能力はどうなるか
- (6) 航空自衛隊を苫東へ誘致は
- (2) 苫小牧港について
- (1) クルーズ船誘致場所を西港にすべきでは
- (2) 北極海航路は何を輸出するのか
- (3) 市内乗合バスについて
- (1) 年末の臨時深夜巡回バスを運行しては (以下略)

## ■一般会計の認定

カジノを含む統合型リゾート施設(IR)関連事業費などを含む決算案に反対しました。

金澤 俊・宇多 春美

# 陽春

避難施設として活用する場合は屋根補強の考えも含めて総合的に判断したいと答弁がありました。



首藤 孝治議員

## 【(仮称)市民ホール計画と総合体育館の複合について】

一般質問にて議論しました。苫小牧市の財政は今後の少子高齢化による人口減少により税収減が推測され、財政が逼迫する可能性があることを指摘し、公共施設の維持管理費用や事業工費の削減、老朽化した総合体育館の状況や中心市街地の活性化を考慮した場合に(仮称)市民ホール計画と総合体育館を併設し複合化することを本格的に検討する必要があることを質疑し、次世代に向けたまちづくりを進めていただくことを要望しました。



越川 慶一議員

【防災情報発信の充実を！】震災時の市民への情報発信は、さらに充実を図る必要があると全市への防災行政無線の設置を提案。市は「

金澤 俊議員

## 苫小牧市立病院医局棟増築について質問

補正予算において、苫小牧市立病院医局棟の増築について提案がされました。



この医局棟の増築によりもたらされる効果は主に、①医局の狭隘化の解消、②院内の再編による利用者の利便性向上、の2点である

と私は理解しておりますし、質問に対する答弁からそのことが明らかになりました。

よりよい医療サービスを提供するために医師の方々のよりよい環境づくりを行うことと、加えて、入退院支援や地域医療連携、看護相談などの利用者のニーズをワンストップで対応できる「(仮称)患者サポートセンター」の設置も示されました。

今後よりよい医療サービスの提供を行うための環境づくりについて、しっかりと取り組んで参ります。

宇多 春美議員

## 代表質問

室蘭児童相談所の分室を苫小牧市内に設置すること



が決まりました。これは、市民の長年の思いであり、特に市民団体の皆様による署名活動は重きものであり続けられたことに敬意を表します。さらに、市は児童虐待防止条例を制定する計画です。条例制定が整い、児相の協力子どもを取り巻く環境を整備し、二度と悲しい事件の無いよう子ども達の健やかな成長を見守りたいと質しました。

「あいサポート運動」はさまざまな障がい特性を理解し、障がいのある人が困っている時に「ちょっとした手助け」を行い、誰もが暮らしやすい地域社会の実現を目指します。この研修を多くの市民の皆さんに受講して「あいサポート」になっていただき、この運動をひろめ、「笑顔あふれるふくしのまちづくり」を推進することを質しました。

# 第4回議場コンサートを開催します。

日時 平成31年2月22日(金)  
12時15分～12時45分

今回は、国の重要無形民俗文化財に指定され、ユネスコ世界無形文化遺産にも登録されたアイヌ古式舞踊。  
アイヌの人たちにより伝承されてきた歌と踊りを披露いたしますので、ぜひ議場へ足をお運びください。

場所 本会議場（市役所11階）  
出演 苫小牧アイヌ文化保存会

※当日は議会を傍聴される方、議場コンサートにお越しの方にもどちらか1回「70とまチョップポイント」を付与いたします。

★この機会に議場の傍聴もかねて、お気軽にお越しください



議会を傍聴  
してみませんか？

傍聴の参加方法もいろいろ  
あなたのスタイルで参加しましょう！



傍聴席に新しく大型のモニターが2台設置され、議場がより一層身近に感じられます！市議会議員との距離もグッと近く、市長のほか市側が答弁している表情もわかりやすくなりました。市民の皆さんの日常生活に関連するさまざまな問題が審議されていますので、気軽にお越しください。

☆議会を傍聴する方は当日、市役所11階までお越しください☆

☆受付で住所、氏名、年齢を記入していただきます☆

インターネット中継もリニューアルしました。  
スマートフォンやタブレット型端末での視聴が可能になりました。



## 議会日程のお知らせ

### ●第19回 市議会定例会

※1回の傍聴につき70ポイント。  
(本会議のみに限ります)



月日	内容
2月21日(木)	陳情締切り(17:00まで)
2月22日(金)	本会議 市政方針・教育行政執行方針・議案等審議
2月28日(木)～ 3月4日(月)	本会議 代表質問・議案等審議
3月5日(火) ～12日(水)	一般・企業会計予算審査特別委員会
3月13日(水)	常任委員会
3月14日(木)	特別委員会
3月15日(金)	議会改革検討会
	本会議 議案等審議

※2月22日、28日から3月14日の開始時間は10時(予定)からになります。(3月15日は未定です)  
※日程などについては変更になる場合があります。(土・日・祝日は休会)  
詳細は、議会事務局にお問い合わせください。

### 編集後記

「議会だより」が発刊されて25号となりました。その間、フリートークやアンケート調査なども行い、わかりやすく読みやすいとは何かと模索し続けています。編集委員会として感じていることは、市民の皆さまに育てられているということです。これからも「議会だより」は進化してまいります。

とまこまい市議会だより  
副編集長 神山 哲太郎

### とまこまい市議会だより編集委員会

岩田 典一・神山哲太郎・板谷 良久・大西 厚子・工藤 良一  
岩田 薫・首藤 孝治・桜井 忠・宇多 春美